

2

級に認定します

試験場

一年一組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷
うことを苦にしてはならない。どの道
でも足の向く方へゆけば必ずそこ
に見るべく、聞くべく、感動すべき
獲物がある。
(国木田独步著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にあ
る以上は、この男のほかにも、
雨やみをする市女笠や揉鳥
帽子が、もう二三人はありそ
うなものである。それが、この男の
ほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 鎌
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがいの
強
角 ↓ 解
ネ ↓ 祝

2
級に認定します

試験場

一年二組

氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき、獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子がもう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 → ふるり
金 → 銭
紙 → いとへん
弓 → 弘
郡 → おおやん
角 → 触
頭 → おおが
ネ → 神

級に認定します

試験場

二年 C 組

氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしなければならない。どの道でも足の向く方向へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘十南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 針
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがひ

角 ↓ 強
角 ↓ 触
糸 ↓ 祝

級に認定します

試験場

一年三組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷う

ことを苦にしてはならない。どの道でも
足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、
聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路
にある以上は、この男の
ほかにも、雨やみをする
市女笠や揉烏帽子が、
もう二三人はありそうなもの
である。それが、この男の
ほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓	金 ↓
ふるとり	針
紙 ↓	子 ↓
いとへん	張
郡 ↓	角 ↓
おおよと	解
頭 ↓	ネ ↓
おおがい	社

2

級に認定します

試験場

一年六組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の方へゆけば必ずそこに
見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

国木田独歩著「武蔵野」より

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。
芥川龍之介「羅生門」より

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 針
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおかい
弓 ↓ 弘
角 ↓ 解
ネ ↓ 祝

2

級に認定します

模範答案

問一 解答欄

試験場

一年六組 氏名

楷書

行書

かな

な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば、必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 針
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがい
引
解
神

級に認定します

試験場

一年二組

氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに
見るべく聞くべく、感動すべき獲物がある。
(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふる とり
金 ↓ 鉄
紙 ↓ いと へん
郡 ↓ おお ざと
頭 ↓ おお かい
角 ↓ 解
糸 ↓ 礼

級に認定します

模範答案

試験場

一年三組

氏名

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よう	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 針
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ ちちがい

ヲ ↓ 弦
角 ↓ 蝮
ネ ↓ 礼

級に認定します

試験場

一年し組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うこ
とを苦にしてはならない。どの道でも足の
向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞
くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にあ
る以上は、この男のほかにも、
雨やみをする市女笠や揉鳥
帽子が、もう二三人はありそ
うなものである。それが、この男
のほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓	金 ↓
ふるとり	針
紙 ↓	弓 ↓
いとへん	強
郡 ↓	角 ↓
おむと	解
頭 ↓	ネ ↓
おおがい	祝

級に認定します

試験場

三年六組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。
(国木田独歩著「武蔵野より」)

問三 解答欄

羅生門が朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や椀鳥帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 → ふるり
鈴
紙 → いとへん
強
郡 → おおざと
解
頭 → おおがい
社

2

級に認定します

模範答案

試験場

一年二組

氏名

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉鳥帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ 心 籠 籠
紙 ↓ い と へ ん
郡 ↓ お お ざ と
頭 ↓ お お が い

金 ↓ 銀
ヲ ↓ 張
角 ↓ 触
ネ ↓ 祈

級に認定します

試験場

一年七組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに
見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。
(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はあり
そんなものである。それが、この男のほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 鉄
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがい
引 ↓ 引
角 ↓ 解
ネ ↓ 礼

2

級に認定します

試験場

三年三組 氏名



問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門か、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それか、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 針
紙 ↓ いとん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがい

弓 ↓ 強
角 ↓ 触
ネ ↓ 祝

2

級に認定します

試験場

一九九
年九
月 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

国木田独步著「武蔵野」より

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

芥川龍之介「羅生門」より

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄



級に認定します

試験場

一年五組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに
見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ 針
金 ↓ 針

紙 ↓ 強
弓 ↓ 強

郡 ↓ 解
角 ↓ 解

頭 ↓ 神
ネ ↓ 神

2

級に認定します

模範答案

問一 解答欄

試験場

一年B組 氏名

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や、揉鳥帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 針
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおごど
頭 ↓ おおがい
ヨ ↓ 張
角 ↓ 触
ネ ↓ 神

2

級に認定します

試験場

一年H組

氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	雅
い	雅	誠
よ	誠	実
う	実	風

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道

に迷うことを苦にしてはならない。

どの道でも足の向く方へゆけば必

ずそこに見るべく、聞くべく、感動

すべき獲物がある。

国木田独歩著「武蔵野」より

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路に
 ある以上は、この男のほ
 かにも、雨やみをする市女
 笠や揉烏帽子が、もう二
 三人はありそうなものであ
 る。それが、この男のほか
 には誰もいない。
 芥川龍之介「羅生門」より

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓	金 ↓
ふるり	針
紙 ↓	ヲ ↓
いとへん	強
郡 ↓	角 ↓
おおやと	解
頭 ↓	ネ ↓
おおかい	祝

2

級に認定します

試験場

一年六組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行音	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに
見るべく、聞くべく、感動すべく、
獲物がある。

国木田独歩著「武蔵野」より

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やめをする市女笠や揉烏帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

芥川龍之介「羅生門」より

問四 解答欄

東越一青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがい

金 ↓ 鉄
弓 ↓ 引
角 ↓ 解
ネ ↓ 神

級に認定します

試験場

一年六組 氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。(国木田独步著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉鳥帽子がもう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。
(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
金 ↓ 銀
紙 ↓ いとへん
郡 ↓ おおざと
頭 ↓ おおがい
引
角 ↓ 解
ネ ↓ 社

2

級に認定します

模範答案

問一 解答欄

試験場 一年S組 氏名

かな	行書	楷書
な	入	入
つ	道	道
の	雲	雲
た	風	風
い	雅	雅
よ	誠	誠
う	実	実

問二 解答欄

武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの道でも足の向く方へゆけば必ずそこに見るべく、聞くべく、感動すべき獲物がある。

(国木田独歩著「武蔵野」より)

問三 解答欄

羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男のほかにも、雨やみをする市女笠や揉鳥帽子が、もう二三人はありそうなものである。それが、この男のほかには誰もいない。

(芥川龍之介「羅生門」より)

問四 解答欄

東越青丘南

問五 解答欄

雄 ↓ ふるとり
 金 ↓ 鉛
 紙 ↓ いとへん
 弓 ↓ 強
 郡 ↓ おおざと
 角 ↓ 解
 頭 ↓ おおがい
 ネ ↓ 神